

## 令和5年 学長年頭挨拶

教職員の皆様、あけましておめでとうございます。

8日間の年末年始の休みでしたが、どのようにお過ごしになられたでしょうか。新型コロナウイルス感染症への対応方法が徐々に明らかにされ、またワクチン接種も進んだこともあり、(株)JTBの調べによりますと、年末年始に国内旅行へ行く方は、昨年の約1.2倍になっているとのことです。皆様の中には帰省されて懐かしい方々に会ったり、旅行へ行ってリフレッシュされたりした方も多く居られたのではないのでしょうか。

さて、今年の賀詞交換会は、学長、理事のメッセージを自由なタイミングで視聴したいというご要望があったことから、昨年のリアルタイム Zoom 開催に代えて、オンデマンド形式といたしました。

年頭に当たって、まずは、昨年を振り返ってみたいと思います。昨年も一昨年同様に、一年を通して新型コロナウイルス感染症との共存を強いられた年ではありましたが、昨年の卒業式、入学式はさいたまスーパーアリーナで3年ぶりに対面による式典を行うことができました。また、入学式ができなかった新2年生、新3年生を対象にした「入学生歓迎式」も行いました。当初は参加者が少ないのではないかと心配しておりましたが、保護者の方も含めて約1,200名の参加がありました。今年の春の卒業式は大宮ソニックシティで、入学式はさいたまスーパーアリーナで行う予定です。

今年度から開始した第4期中期目標期間において戦略的・重点的に実施する取組を「埼玉大学 Action Plan 2022-2027」としてまとめました。教育、研究、ダイバーシティ、大学ガバナンスに関する4つの Vision に基づいた12の取組を推進することにより、役教職員協働で本学の更なる機能強化に取り組んでいきたいと考えております。

教育面に関しては、昨年4月に理工学研究科博士前期課程の改組が行われ、これまでの6専攻13コースから5専攻10教育プログラムに変わりました。同時に文理融合型の融合教育プログラムや特別教育プログラムの導入を行っております。これにより、高度な専門知識に加え幅広い周辺知識を持った研究者・高度技術者の育成を目指して参ります。また、学士課程においても基盤科目に数理・データサイエンス教育の導入を行い、社会におけるデータ・AI 利活用やデータリテラシーを学ぶ授業科目を全学必修化いたしました。

研究面では、基礎研究、応用研究、産学官連携研究を推進する戦略的研究領域を7領域、将来の本学の強みとなる研究領域の創出を目指すインキュベーショングループを5つ、それぞれ選定して研究を展開しております。

社会貢献として、埼玉県地域の中核拠点となり地域全体のダイバーシティ推進を牽引する「ダイバーシティ推進センター」の設置を行いました。また、「さいたま発の公民学によるグリーン共創モデル」をコンセプトとした、さいたま市、芝浦工業大学、東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社と本学との共同提案による「脱炭素先行地域」に選定されております。

他大学との連携では、一昨年の埼玉医科大学に続き、昨年3月には埼玉県立大学との包括連携協定を結び、両大学との共同研究や埼玉医科大学との課外教育プログラムの展開、埼玉県立大学との単位互換制度の設定など、教育、研究レベルでの連携を強化しております。

以上、昨年の活動の一端を紹介させていただきましたが、コロナ禍の制約はありつつも、このように、大学として多くの成果を残すことができました。これも、ひとえに教職員お一人お一人のご尽力の賜物であります。この場を借りて、全ての教職員の皆様の努力とご協力に対してお礼を申し上げたいと存じます。ありがとうございました。

現在の新型コロナウイルス感染症の変異株は重症化しにくいと言われており、海外では、ウィズコロナに向けて大きく舵を切っております。我が国でも、治療薬の承認、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類の引き下げを視野に入れた検討が始まっており、以前の生活に戻る希望が見えて参りました。コロナ禍前の状況に戻るまではいまだ少し掛かりそうですが、役教職員一丸となり、この難局を乗り越えるとともに、本学の持つ教育、研究、社会貢献の力を最大限発揮できるように一層努力して参りたいと存じます。

さて、例年と同様に、教職員の皆様にご覧いただきありがとうございます。

今年度の大学入学共通テストが1月14日、15日に実施されます。また、2月、3月には個別試験が予定されています。

昨年の大学入学共通テストでは、全国的に見ると、コロナ禍に加えて、試験問題の外部流出や、暴力事案がありました。さまざまな不安要素が心配されるころですが、入試業務はアドミッションポリシーに沿って学生を選抜する、大学にとっていわばエッセンシャルワークともいえるべきものになります。感染症対策や安全措置を講じながら公正な入試を実施して参りたいと存じます。引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さんと皆さんのご家族にとって、2023年が健康で充実した一年となりますよう祈念申し上げて、年頭の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和5年1月5日  
埼玉大学長 坂井 貴文